

教科	地理歴史	科目	歴史総合	履修区分	必修	使用教科書	東京書籍『新選歴史総合(701)』
添削指導回数	6	面接指導回数	2	単位認定試験回数	1	副教材等	NHK高校講座教科書DVD

学習の目標

①近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。  
 ②近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。  
 ③近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

学習に取り組む際の注意事項

添削指導	提出期間に間に合うように提出する（タブレットは1枚ずつ、紙は6枚ずつ）。
面接指導	各期に開講する番号を確認し計画的に出席する。 ●視聴票：面接指導の出席と合わせ、①～②の計2時間となるように提出する。 ※視聴票による減免は原則1時間（6割減免）まで。
単位認定試験	添削指導、面接指導（視聴票を含む）を全て修了後に受験。
単位修得	（認定）に当たっての基準
評価方法	各単元ごとに3観点で評価（A・B・C）し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名（教科書ページ）	添削指導 No.	面接指導				単位認定試験	観点別評価	
		開講番号	開講期	視聴票			観点	評価基準
				NHK高校講座	教科書DVD			
P. 20-51 近代化への問い 結び付く世界と日本の開国	1	①	I・Ⅲ期	2, 3, 4, 5	P. 52-59 P. 92-103	全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	結び付く世界と日本の開国に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。また、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	結び付く世界と日本の開国に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。							
主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。							
P. 52-83 国民国家と明治維新	2	知識・技能	国民国家と明治維新に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。また、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。					
思考・判断・表現	国民国家と明治維新に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。							
主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。							
P. 84-111 国際秩序の変化や大衆化への問い 第一次世界大戦と大衆社会	3	知識・技能	国際秩序の変化や大衆化、第一次世界大戦に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。また、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。					
思考・判断・表現	国際秩序の変化や大衆化、第一次世界大戦に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。							
主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。							
P. 112-127 経済危機と第二次世界大戦	4	②	Ⅱ期	10, 11, 12, 13	P. 118-123 P. 174-175 P. 178-181	知識・技能	経済危機と第二次世界大戦に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。また、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	
思考・判断・表現	経済危機と第二次世界大戦に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。							
主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。							
P. 128-169 連合国の占領政策と冷戦 グローバル化への問い 冷戦と世界経済	5	知識・技能	連合国の占領政策と冷戦、世界経済に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。また、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。					
思考・判断・表現	連合国の占領政策と冷戦、世界経済に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。							
主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。							
P. 170-195 世界秩序の変容と日本	6	知識・技能	世界秩序の変容と日本に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。また、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。					
思考・判断・表現	世界秩序の変容と日本に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。							
主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。							

教科	地理歴史	科目	地理総合	履修区分	必修	使用教科書	東京書籍『地理総合(701)』 東京書籍『新高等地図(701)』
添削指導回数	6	面接指導回数	2	単位認定試験回数	1	副教材等	NHK高校講座 教科書DVD

学習の目標

① 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。  
 ② 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。  
 ③ 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

学習に取り組む際の注意事項

添削指導	提出期間に間に合うように提出する（タブレットは1枚ずつ、紙は6枚ずつ）。
面接指導	各期に開講する番号を確認し計画的に出席する。
	●視聴票：面接指導の出席と合わせ、①～②の計2時間となるように提出する。 ※視聴票による減免は原則1時間（6割減免）まで。
単位認定試験	添削指導、面接指導（視聴票を含む）を全て修了後に受験。
単位修得（認定）に当たっての基準	
評価方法	各単元ごとに3観点で評価（A・B・C）し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名（教科書ページ）	添削指導 No.	面接指導				単位認定 試験	観点別評価		
		開講番号	開講期	視聴票			観点	評価規準	
				NHK高校講座	教科書DVD				
P. 5-54 地図や地理情報システムでとらえる現代世界	1	①	Ⅰ・Ⅲ期	2, 3, 4, 5	P. 8-13 P. 22-27 P. 68-73	全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	地図や地理情報システムに関して、世界の多様性や地域の特色、地球的課題への取り組みなどを理解している。地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	
P. 55-91 生活文化の多様性と国際理解 生活文化と自然環境（地形・気候）	2						思考・判断・表現	地図や地理情報システムについて、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。	
							主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	
							知識・技能	生活文化の多様性や自然環境に関して、世界の多様性や地域の特色、地球的課題への取り組みなどを理解している。地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	
P. 92-120 生活文化と産業	3						思考・判断・表現	生活文化の多様性や自然環境について、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。	
							主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	
		知識・技能	生活文化と産業に関して、世界の多様性や地域の特色、地球的課題への取り組みなどを理解している。地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。						
P. 121-145 地球環境問題 資源・エネルギー問題 人口問題 食糧問題	4	思考・判断・表現	生活文化と産業の多様性や自然環境について、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。						
		主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。						
		知識・技能	地理に関わる諸問題に関して、世界の多様性や地域の特色、地球的課題への取り組みなどを理解している。地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。						
P. 146-172 居住・都市問題 民族問題 持続可能な社会の実現をめざして	5	思考・判断・表現	地理に関わる諸問題について、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。						
		主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。						
		知識・技能	地理に関わる諸問題や持続可能な社会の実現に関して、世界の多様性や地域の特色、地球的課題への取り組みなどを理解している。地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。						
P. 173-211 自然環境と防災 生活圏の調査と地域の展望	6	思考・判断・表現	地理に関わる諸問題や持続可能な社会の実現について、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。						
		主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。						
		知識・技能	自然環境と防災、生活圏の調査と地域の展望に関して、世界の多様性や地域の特色、地球的課題への取り組みなどを理解している。地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。						
								思考・判断・表現	自然環境と防災、生活圏の調査と地域の展望について、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。

令和7年度 年間指導計画

鹿児島県立高等学校 通信制課程

教科	地理歴史	科目	世界史探究	履修区分	必修	使用教科書	東京書籍『世界史探究(701)』
添削指導回数	12	面接指導回数	4	専任教員指導回数	1	副教材等	NHK高校講座 教科書DVD

学習の目標

① 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。  
 ② 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、資料や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを差に議論したりする力を養う。  
 ③ 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して活発な日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

学習に取り組む際の注意事項

添削指導	提出期間に間に合うように提出する(タブレットは1枚ずつ、紙は6枚ずつ)。
面接指導	各期に開講する番号を確認し計画的に出席する。 ●視聴覚：面接指導の出席と合わせ、公共①～公共②の計2時間となるように提出する。
単位認定	本履修計画による各期(各期1時間)の出席(出席)を全て修了後に受験。 単位修得(認定)に当たっての基準 評価方法 各単元ごとに3観点で評価(A・B・C)し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名(教科書ページ)	添削指導 No.	面接指導			単位認定 試験	観点別評価	
		開講番号	開講期	視聴覚 NHK高校講座 教科書DVD		観点	評価規準
p.11～55 古代文明の出現 西アジアと地中海周辺	1	①	Ⅰ・Ⅲ期	2, 3, 6, 11	P.26～ P.30 P.36～ P.39 P.50～ P.55	知識・技能	オリエント文明、インダス文明、中華文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解している。
思考・判断・表現	文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目して、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について多面的・多角的に考察し、問いを表現している。						
主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。						
p.56～104 西アジアと地中海周辺 南アジア 東アジア 東アジアと中央ユーラシア アフリカ、オセアニア、古アメリカ	2	②	Ⅰ・Ⅲ期	14, 15, 16, 19	P.145～ P.150 P.187～ P.191 P.203～ 207	知識・技能	アジア・中央ユーラシア・アフリカ・オセアニア・古アメリカの古代文明について、諸資料から読み取り、理解している。
思考・判断・表現	古代文明の歴史的特質について主題を設定して考察し、表現している。						
主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。						
p.106～144 イスラーム世界の拡大と繁栄 中世ヨーロッパ	3	③	Ⅱ期	24, 25, 27, 29	P.233～ P.236 P.244～ P.248 P.299～ P.302	知識・技能	イスラーム世界の成立について、諸資料から読み取り、理解している。西ローマ帝国滅亡後の東西ヨーロッパが、それぞれどのような変容をとげたのかについて、諸資料から読み取り、理解している。
思考・判断・表現	キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴について主題を設定して考察し、表現している。						
主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。						
p.145～166 中華世界の発展とモンゴル帝国 インド洋海域世界の発展と東南アジア	4	④	Ⅱ期	30, 31, 32, 35	P.319～ P.321 P.332～ P.336 P.343～ P.346	知識・技能	歴史の上かつてない規模の世界帝国であるモンゴル帝国はどのように生まれ、どのように世界を結びつけたのかなどについて理解している。インドと東南アジアにおけるイスラームの広がりが一様でなかった要因などについて理解している。
思考・判断・表現	諸地域の交易に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、インド洋海域世界と東南アジアの発展、中国社会の特徴やモンゴル帝国などを多面的・多角的に考察し、表現している。						
主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。						
p.167～199 大交易時代と世界の一体化 ユーラシア諸帝国の繁栄	5	⑤	Ⅲ期	14, 15, 16, 19	P.145～ P.150 P.187～ P.191 P.203～ 207	知識・技能	アジア海域での交易の興隆、明と日本・朝鮮の動向、スペインとポルトガルの活動などを基に、諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解している。西アジアや南アジアの諸帝国、清と日本・朝鮮などの動向を基に、アジア諸地域の特質を構造的に理解している。
思考・判断・表現	アジア海域での交易の特徴、ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。アジア諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、諸帝国の統治の特徴、アジア諸地域の経済や文化の特色、日本の対外関係の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。						
主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。						
p.202～224 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大	6	⑥	Ⅲ期	14, 15, 16, 19	P.145～ P.150 P.187～ P.191 P.203～ 207	知識・技能	宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争、大西洋三角貿易の展開、科学革命と啓蒙思想などを基に、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解している。
思考・判断・表現	宗教改革の意義、大西洋沿岸諸地域の経済的連関の特徴、主権国家の特徴と経済活動との関連、ヨーロッパ社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現している。						
主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。						
p.225～258 国民国家と近代社会の形成	7	⑦	Ⅲ期	14, 15, 16, 19	P.145～ P.150 P.187～ P.191 P.203～ 207	知識・技能	産業革命と環大西洋革命、自由主義とナショナリズム、南北戦争の展開などを基に、国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解している。
思考・判断・表現	産業革命や環大西洋革命の意味や意義、自由主義とナショナリズムの特徴、南北アメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。						
主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。						
p.259～297 世界市場の形成とアジア諸国の変容 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行	8	⑧	Ⅲ期	14, 15, 16, 19	P.145～ P.150 P.187～ P.191 P.203～ 207	知識・技能	国際的な分業体制と労働力の移動、イギリスを中心とした自由貿易体制、アジア諸国の植民地化と諸改革などを基に、世界市場の形成とアジア諸国の変容を構造的に理解している。第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争、アジア諸国の変革などを基に、世界分割の進展とナショナリズムの高まりを構造的に理解している。
思考・判断・表現	労働力の移動を促す要因、イギリスの覇権の特徴、アジア諸国の変容の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。世界経済の構造的な変化、列強の帝国主義政策の共通点と相違点、アジア諸国のナショナリズムの特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。						
主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。						
p.298～317 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容	9	⑨	Ⅲ期	14, 15, 16, 19	P.145～ P.150 P.187～ P.191 P.203～ 207	知識・技能	第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成、アメリカ合衆国の台頭、アジア・アフリカの動向とナショナリズムなどを基に、第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。
思考・判断・表現	第一次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、第一次世界大戦後の国際協調主義の性格、アメリカ合衆国の台頭の要因、アジア・アフリカのナショナリズムの性格などを多面的・多角的に考察し、表現している。						
主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。						
p.318～336 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦	10	⑩	Ⅲ期	14, 15, 16, 19	P.145～ P.150 P.187～ P.191 P.203～ 207	知識・技能	世界恐慌とファシズムの動向、ヴェルサイユ・ワシントン体制の動揺などを基に国際関係の緊張と対立を構造的に理解している。
思考・判断・表現	世界恐慌に対する諸国家の対応策の共通点と相違点、ファシズムの特徴、第二次世界大戦に向かう国際関係の変化の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。						
主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。						
p.337～362 第二次世界大戦と戦後の東アジア 冷戦の世界化と国際制度	11	⑪	Ⅲ期	14, 15, 16, 19	P.145～ P.150 P.187～ P.191 P.203～ 207	知識・技能	第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序、冷戦とアジア諸国の独立の始まりなどを基に、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。紛争解決の取り組みと課題、格差の是正の取り組みと課題、知識基盤社会の展開と課題を理解している。
思考・判断・表現	第二次世界大戦中の連合国による戦後構想と大戦後の国際秩序との関連、アジア諸国の独立の地域的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。国際連盟と国際連合との共通点と相違点、先進国による経済援助や経済の成長が見られた地域の特徴、第二次世界大戦後の科学技術の高制度化と政治・経済・社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現している。						
主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。						
p.363～385 冷戦の終結と経済のグローバル化 21世紀の地球課題と人類社会	12	⑫	Ⅲ期	14, 15, 16, 19	P.145～ P.150 P.187～ P.191 P.203～ 207	知識・技能	冷戦の終結と地域紛争の頻発、アメリカ合衆国の覇権の動揺、資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換、アジア・ラテンアメリカ諸国の経済成長と南南問題、経済のグローバル化、原子力の利用などを基に、紛争解決の取り組みと課題、格差の是正の取り組みと課題、知識基盤社会の展開と課題を理解している。
思考・判断・表現	冷戦下の紛争解決と冷戦後の紛争解決との共通点と相違点、紛争と経済や社会の変化との関連性、諸地域間の経済格差や各国間の経済格差の特徴、経済格差と政治や社会の変化との関連性、科学技術の高制度化と政治・経済・社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現している。関連づけたりして読み解き、紛争と経済や社会の変化との関連性、経済格差と政治や社会の変化との関連性、現代の科学技術や文化の歴史的な特色、第二次世界大戦後の科学技術の高制度化と政治・経済・社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現している。						
主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。						

令和7年度 年間指導計画

青島学園高等学校 通信制課程					
教科	地理歴史	科目	日本史探究	履修区分	必修修
使用教科書	東京書籍『日本史探究(701)』				
添削指導回数	12	面接指導回数	4	専任教員研修回数	1
副教材等	NHK高校講座 教科書DVD				

学習の目標

①我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。  
 ②我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。  
 ③我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して養われる日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

学習に取り組む際の注意事項

添削指導	提出期間中に合うように提出する(タブレットは1枚ずつ、紙は6枚ずつ)。
面接指導	各期に開講する番号を確認し詳細に出席する。 ●視聴授業:面接指導の出席を合わせ、公共1〜公共2の計2時間となるように提出する。 ※視聴授業による遅延は原則1週間(10日以内)まで。
単位認定試験	面接指導(視聴授業を含む)を全て修了後に受験。
単位修得(認定)に当たっての基準	
評価方法	各単元ごとに3観点で評価(A・B・C)し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名(教科書ページ)	添削指導 No.	面接指導			単位認定 試験	観点別評価	
		開講番号	開講期	視聴時間 NHK高校講座 教科書DVD		観点	評価規準
p.7~40 先史時代の生活と文化 歴史資料と先史・古代の展望 古代社会の形成と展開	1				全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、先史時代の特色を理解している。先史・古代の特色を示す適切な歴史資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。先史から古代の政治・社会や文化の特色を理解している。
						思考・判断・表現	先史・古代の日本と東アジアの展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。中国大陸や朝鮮半島の関係、期・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、小論の形成と連合、古代の国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の展開などを根拠を示して表現している。
						主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。
p.41~64 平城京と天平文化 摂関政治と貴族文化	2	①	I・Ⅲ期	1,2,3,4 P.14~17 P.38~43 P.80~ P.84		知識・技能	「奈良時代にはどのような政治がおこなわれたのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。貴族政治の展開、平家朝の文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解している。
						思考・判断・表現	「天平文化の国際性は、どのような要因によってもたらされたのだろうか」などの課題について、中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して考察し、その結果を表現している。地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の展開などを根拠を示して表現している。
						主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。
p.65~97 中世社会の成立 歴史資料と中世の展望 武家政権の成立と朝廷	3					知識・技能	中世の日本と世界の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から、中世の日本と世界に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。中世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解している。
						思考・判断・表現	中世の日本と世界の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
						主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。
p.98~122 武家支配の広がりや国際交流	4					知識・技能	武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解している。
						思考・判断・表現	社会や経済の変化とその影響、東アジアの国際情勢の変化とその影響、地域の多様性、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の展開などを根拠を示して表現している。
						主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。
p.123~139 近世社会の形成 歴史資料と近世の展望	5	②	I・Ⅲ期	5,6,7,8 P.98~101 P.120~ P.131 P.156~ P.159	知識・技能	織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、中世から近世への時代の転換を理解している。近世の特色を示す適切な歴史資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。	
					思考・判断・表現	村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。歴史資料の特性をふまえて、資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。	
					主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。	
p.140~165 幕藩体制の確立	6				知識・技能	法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、技術の向上と開発の進展、学問・文化の発展などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解している。	
					思考・判断・表現	幕藩政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化、交通・流通の発達、都市の発達と文化の担い手の関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の展開などを根拠を示して表現している。	
					主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。	
p.166~186 近世社会の成熟と幕藩体制の動揺	7				知識・技能	産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解している。	
					思考・判断・表現	社会・経済のしくみの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化の関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の展開などを根拠を示して表現している。	
					主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。	
p.187~213 近代社会の幕開け 歴史資料と近代の展望 近代の制度の導入と新しい国際関係	8	③	Ⅱ期	16,17,18,19 P.176~179 P.196~197 P.204~205 P.218~223	知識・技能	対外関係の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政府の成立などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、近世から近代への時代の転換を理解している。近代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。明治維新、文明開化の風潮、学問の発展や教育制度の拡充、自由民権運動などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、近代の制度の導入、アジアや欧米諸国との関係を理解している。	
					思考・判断・表現	欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。アジアや欧米諸国との関係、地域社会の変化、欧米の思想、文化の影響、教育の普及とその影響などに着目して、主題を設定し、近代の政治の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の展開などを根拠を示して表現している。	
					主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。	
p.214~239 国民国家と資本主義の成立	9				知識・技能	大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争、産業革命の展開などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、立憲体制への移行、国民国家の形成、産業の発展の経緯と近代の文化の特色を理解している。	
					思考・判断・表現	産業の発達の背景と影響、地域社会における労働や生活の変化、戦争が及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、近代の政治の展開と国際的地位の確立、日本の工業化の進展、近代の文化の形成について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の展開などを根拠を示して表現している。	
					主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。	
p.240~269 開大戦開期の日本 第二次世界大戦と日本	10				知識・技能	第一次世界大戦、社会運動の動向、政治的変遷などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、大衆社会の形成、アジアと欧米諸国との関係の変容を理解している。開大戦と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解している。	
					思考・判断・表現	産業の発達の背景と影響、地域社会における労働や生活の変化、戦争が及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済、国民の政治参加の拡大、日本の工業化の進展について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の展開などを根拠を示して表現している。	
					主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。	
p.270~p.291 占領と改革	11	④	Ⅱ期	20,21,22,23 P.262~ P.265 P.268~ P.273 P.280~ P.283	知識・技能	占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、戦後の経済復興などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係を理解している。	
					思考・判断・表現	第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違、国民の生活や地域社会の変化などに着目して、主題を設定し、戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の展開などを根拠を示して表現している。	
					主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。	
p.292~p.321 国際社会への復帰と高度経済成長 アジア情勢の変化と経済大国日本 新しい国際秩序と日本の課題 現代の日本の課題の探究	12				知識・技能	平和条約と独立の回復、高度経済成長などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、我が国の再出発後の政治・経済や対外関係を理解している。	
					思考・判断・表現	冷戦の影響、国民の生活や地域社会の変化などに着目して、主題を設定し、戦後政治の展開、日本経済の発展について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の展開などを根拠を示して表現している。	
					主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。	

令和7年度 年間指導計画

鹿島学園高等学校 通信制課程

教科	地理歴史	科目	地理探究	履修区分	必修	使用教科書	東京書籍『地理探究 (701)』
添削指導回数	12	面接指導回数	4	専任教員指導回数	1	副教材等	NHK高校講座 教科書DVD

学習の目標

① 地球的な視野から地理的事象の空間的な規則性、傾向性や関連する課題の発生要因を捉える学習を通して、現代世界の諸事象の地理的認識を深めるとともに、系統地理的な考察方法を身に付ける。  
 ② ①をふまえ、選択した地域の特性とそこで発生する諸課題について捉える学習を通して、現代世界の諸地域の地理的認識を深めるとともに、地理的な考察方法を身に付ける。  
 ③ ①、②をふまえ、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や持続可能な国土像の在り方を構想する学習を通して、現代世界における日本の現状と望ましい将来像についての認識を深めるとともに、主体的な学習活動である探究の手法を身に付ける。

学習に取り組む際の注意事項

添削指導	提出期間に間に合うように提出する（タブレットは1枚ずつ、紙は6枚ずつ）。
面接指導	各期に開講する番号を確認し計画的に出席する。 ●視聴覚：面接指導の出席を合わせ、公共1～公共2の計2時間となるように提出する。
単位認定	交際費等による滞学期間1週間（10日間）まで。
単位修得（認定）に当たっての基準	全てを修了後に受験。
評価方法	各単元ごとに3観点で評価（A・B・C）し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名（教科書ページ）	添削指導 No.	面接指導		履修区分		単位認定 試験	観点別評価	
		開講番号	開講期	NHK高校講座	教科書DVD		観点	評価標準
p.12～33 世界の地形	1						知識・技能 人間の生活の基礎である地形の重要性について認識するとともに、それを空間的規模と形成要因、人間生活との関係に着目しながら理解している。	
p.34～57 気候と自然環境 気候と人々の生活	2	①	I・Ⅲ期	1,4,5,7		P.14～17 P.38～43 P.80～ P.84	知識・技能 地球規模でみられる気候と降水量の分布の特徴とそれが生じる原因についての理解を踏まえ、気候の特徴について理解している。気候の特徴となる気候と降水量の地域ごとの違いについて、各々の気候区の特徴を踏まえて認識するとともに、人間生活との関係について理解している。	
p.60～77 日本の自然環境と自然災害 世界の環境問題	3						知識・技能 日本の自然環境の特徴について地形と気候の視点から理解するとともに、今後発生する可能性のある自然災害について整理する。地球規模での環境問題が深刻化している背景・要因について多面的・多角的に理解している。	
p.80～103 産業の高度化と社会的分業 農林水産業 食料問題	4						知識・技能 産業の高度化に伴い社会的分業が複雑化し、地域的役割として表れていることを把握するとともに、それが地球規模で広がっていることを理解している。農林水産業の立地とその形態について地域性との関わりから把握するとともに、アグリビジネスの活動が環境を越えて産地と消費地とを結び付けていることを理解している。世界の食料供給の地域的役割が、食糧や飼料、食料自給率低下といった食料問題を生み出す背景になっていることを理解している。	
p.104～141 エネルギーと鉱産資源 資源・エネルギー問題 工業の立地と工業地域の変容 第三次産業	5	②	I・Ⅲ期	10,12,14,15		P.98～101 P.120～ P.131 P.156～ P.159	知識・技能 資源の分布や消費の地域的偏りが国際取引を成立させていることを踏まえた上で、各国の掲げる資源ナショナリズムやエネルギー政策の違いが国際対立の一因になっていることを理解している。化石燃料への依存を減らし、再生可能エネルギーの普及を進めていることは、地球温暖化の緩和やエネルギー安全保障に重要であることを理解している。第三次産業の特徴や変化について把握するとともに、流通産業の発達や情報通信業の発展、医療・福祉産業の創出による違いに着目しながら、それらの現代的な位置づけ・課題について理解している。	
p.142～157 交通、通信 貿易と経済連携 観光	6						知識・技能 交通・通信の発達による世界の結び付きの現状について把握するとともに、交通・通信の発達により生じる問題の背景・要因、解決に向けての取り組みについて理解している。貿易の発達による世界の結び付きの現状について把握するとともに、交通・通信の発達により生じる問題の背景・要因、解決に向けての取り組みについて理解している。	
p.158～167 人口 人口問題	7						知識・技能 人口分布と人口増加の地域的傾向について把握するとともに、それらに影響を与える人口転換や人口移動について理解している。発展途上国と先進国各々が抱えている人口問題について多面的・多角的に理解する。	
p.168～185 村落・都市 居住・都市問題	8	③	Ⅱ期			P.176～179 P.196～197 P.204～205 P.218～223	知識・技能 村落・都市の機能や形態、分布の特徴、都市システム都市内部の機能分化や大都市圏の発展過程について多面的・多角的に理解している。発展途上国と先進国各々の都市・居住問題への対応による新しい都市の動きや日本の都市が直面している課題について理解している。	
p.186～208 生活文化の地域性 民族・言語・宗教 民族問題 現代の国家と領土問題	9						知識・技能 文化と環境との相互関係や文化が変容する理由について把握するとともに、衣食住などの生活文化が環境との相互作用の中で形成され、歴史的に変わってきたことを、多面的・多角的に考察している。民族・言語・国家の相互関係について把握するとともに、文化としての宗教とその多様性について理解している。	
p.209～227 東アジア	10						知識・技能 中国と韓国を中心に、東アジアの産業や地域格差、文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理して考察することを通して地域理解を深めている。	
p.228～255 東南アジア 南アジア 西アジアと中央アジア 北アフリカとサハラ以南アフリカ	11	④	Ⅱ期			P.262～ P.265 P.268～ P.273 P.280～ P.283	知識・技能 東南・南・西アジアと中央アジアにおける工業化の進展や地域格差など、さまざまな事象を項目ごとに整理して考察することを通して地域理解を深めている。北アフリカとサハラ以南アフリカの両地域における地理的事象の共通点と相違点に着目しながら、各々の地域の特徴について理解している。	
p.256～293 ヨーロッパ ロシア アジア アフリカ オセアニア 日本の地理的諸課題を読み解く	12						知識・技能 ヨーロッパの地域統合に着目して、産業や都市の変化、地域格差などの地理的事象を関連づけることを通じて地域理解を深めている。ロシアにおける民族や人々の暮らしの変化、産業地域の変化など、さまざまな地理的事象を項目ごとに整理して考察することを通して地域理解を深めている。ラテンアメリカにおける自然環境や歴史・文化、産業、開発などのさまざまな地理的事象を項目ごとに整理して考察することを通して地域理解を深めている。	

全課程から問題を選出し、出題する。